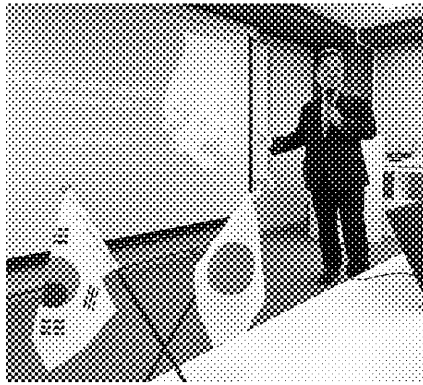


アイエスエフネット



日本語や英語、韓国語、中国語による現地サポートを求める欧米企業の要望に応え、アイエスエフネットは国内ではシステム構築（SI）業者や通信事業者に対するインフラ技術者の育成・派遣をメインとし、その一環として海外での業務を請け負っている。APACでは韓国・ソウル市に現地法人があり、現在100人超の体制で韓国全域をカバー。

アイエスエフネットは、アジア太平洋地域（APAC）に進出する欧米IT企業の現地拠点を支援する「グローバル・パートナー・プロジェクト」を始める。インフラ技術者の育成・派遣で培ったノウハウと、延べ1万社を超える技術者派遣の商流を生かし、グループ一丸となり、IT業務を技術者の供給とともに一括窓口として請け負う形で支援する。2026年度に30社、30年までに200社の案件獲得を目指す。

日韓市場の双方をカバーできる強みから「欧米の大手SI業者数社との取引があり、さらに毎月2〜3社の新規問い合わせもある」（渡辺社長）という。グローバル・パートナー・プロジェクトでは、中国（大連市）とシンガポールの両拠点を含め、それぞれがビジネスパートナーの技術者と連携してIT業務を請け負う。主戦場の日韓を中心にインドネシアやタイ、ベトナム、豪州などでのビジネスを拡大していく。

アイエスエフネットは現在、国内外に500社以上のビジネスパートナーを持ち、250人を超えるマルチリンガルを含め約2300人のインフラ技術者を抱えている。海外向

欧米IT支援プロ始動

アジア太平洋展開 技術者派遣など

では24時間365日のマルチリンガルITサポートをオンライン（現場）とリモート（遠隔）の双方で行い、各国の技術者との意思疎通やビジネスマ

ナーの違いから生じる課題にも対応している。今回のプロジェクトでは単なる人材供給にとどまらず、コアとなるビジネスパートナー

とは「繁忙期に仕事を受ける一方で、閑散期には案件を紹介する」（同）などのやりくりで相互関係を深め、APACでの商流の強化と拡大を図る。